

17

生涯を通じた健康づくり推進プロジェクト

概要

高齢化が進む中においても、県民誰もが生涯を通じて、健やかに心豊かに生活できるよう、全てのライフステージを通じた健康づくり推進の取組を展開する

重点
施策

- 60 県民の主体的な健康づくりの推進
61 県民の健康づくりを支援する環境づくり

(1) 成果指標の状況

成果 指標	進捗状況	指標数	主な指標
	★★★★★(目標を達成)		
	★★★★ (計画を上回る)	1	県立スポーツ施設の年間利用者数
	★★★ (ほぼ計画どおり)	2	健康寿命、市町、職域等を含むがん検診受診率
	★★ (計画を下回る)	1	特定健康診査実施率
	★ (計画から大幅に遅れ)	1	山口県健康エキスパート薬剤師数

(2) 県民実感に係る調査結果

調査区分	調査項目	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
県民実感度調査 (%)	生活習慣病の予防など、健康づくりに向けた対策が進んでいると思いますか。	29.3	46.7	22.0

(3) 主な取組と成果

◆県民の主体的な健康づくりの推進

- 「やまぐち健幸アプリ」の運用により、健康づくりに関する個人の取組の「見える化」「日常化」を図るとともに、健幸アプリの普及による**個人の健康行動データ蓄積**に向けた**基盤を整備**。

やまぐち健幸アプリダウンロード数：**77,000 件**（令和 7.7 月末）

- これまでの 8020 運動 や、官民協働「健口スマイル」推進事業により、80 歳で 20 本以上自分の歯を残す 8020 の達成者が増加。

8020 の達成者：36.9%（平成 27 年度）→**55.4%**（令和 4 年度）

◆県民の健康づくりを支援する環境づくり

- 企業を通じた働く世代への健康増進の働きかけを促す「**やまぐち健康経営企業認定制度**」の**取組拡大**などにより、県民の**主体的な健康づくりを支援**

やまぐち健康経営登録企業数：1,485 社、うち認定：842 社(令和 6 年度末時点)

- 「やまぐち健康応援団」の**登録事業所拡大**により、県民の主体的な健康づくりを支援する仕組みを充実。

やまぐち健康応援団登録事業所数：**2,156 事業所**（令和 7.6 月末）

- **健康エキスパート薬剤師**の登録を推進するとともに、健康エキスパート薬剤師による薬と健康相談キャンペーンの開催やまちなか健康サポート推進モデル事業を実施。

薬と健康相談キャンペーン：県内スーパー 4 か所（7/28 開催、参加者 **295 名**）、山口県総合保健会館（11/17 開催、参加者 **47 名**）

まちなか健康サポート推進モデル事業：県内スーパー 1 か所（10/26、11/9、11/23、12/7 開催、参加者 延べ **167 名**）

(4) 総評

総
評

健康への意識の高まりや 県民の主体的な健康づくりがある程度進んできたが、三大生活習慣病の年齢調整死亡率は男女とも全国平均を上回っており、県民一人ひとりが意欲をもって健康づくりに取り組むことができる環境づくりを更に進めていくことが求められている。

(5) 課題と今後の展開方向

課
題
と
今
後
の
展
開
方
向

◆県民の主体的な健康づくりの推進

- 平均寿命や健康寿命は国と同様に延伸しているものの、平均寿命は男女とも全国平均を下回っている。また、三大生活習慣病の年齢調整死亡率は、男女とも全国平均を上回っていることから、生活習慣の改善に一層取り組むため、県民一人ひとりが意欲を持って健康づくりに取り組めるよう、健康づくりの「見える化」・「日常化」を推進していく必要がある。
- 特定健診やがん検診の受診率は全国平均より低く、さらなる受診促進を図る必要があること、また、歯周病について歯科健診（検診）により早期から対策を取ることが重要であることから、市町や保険者、関係団体、企業との連携を強化し、受診機会等の拡充や受診勧奨の促進など、健康づくりに向けた健診（検診）を一層推進する必要がある。
- 8020 運動の推進により、80 歳になっても自分の歯を20 本以上保つ「8020 達成者」の割合は増加したが、高齢者の口腔機能の低下（オーラルフレイル）や小児の口腔機能発達不全等が問題となっていることから、ライフステージに応じた口腔機能の獲得・維持・向上に取り組む「健口スマイル運動」を県民運動として推進する必要がある。

◆県民の健康づくりを支援する環境づくり

- 県民誰もがそれぞれの年代等に応じた健康づくりを積極的に取り組める環境づくりを進めることが重要であるため、登録者が着実に増加している「やまぐち健幸アプリ」をはじめ、「やまぐち健康応援団」、「やまぐち健康経営企業認定制度」などを連携させて展開し、健康づくりを一層推進する必要がある。
- 健康エキスパート薬剤師の登録・啓発を進めつつ、県民自らの健康づくりがより効果的に進むよう、健診結果等を活用し、相談者に応じた健康サポートを実施するなど、薬学的な健康サポートの推進を図る必要がある。

(参考) 令和7年度の主な新規・拡充取組

新

COPD対策推進事業

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度向上を図り、早期発見・早期治療、重症化予防を行う診療連携体制を整備

新

脳卒中・心臓病等総合支援事業

新たに設置された「脳卒中・心臓病等総合支援センター」と連携し、循環器病患者等の包括的な支援体制を構築

拡

健口スマイル運動・口腔保健推進事業

歯科保健医療サービス提供困難者に対する取組の包括的かつ効果的な推進に向けて、新たに、歯科保健医療提供体制の充実にに向けた体制整備を図る。